

2007

環境報告書



相模原・木もれびの森

【 組 合 員 】

株式会社 朝日美装 相模原営業所
有限会社 あすなろ

株式会社 アポロコミュニティ
株式会社 サービスメイク

有限会社 ジャンプ・サービス
株式会社 鈴成ビルサービス

大昇産業 株式会社

株式会社 ダイヤビルメンテナンス
株式会社 ティーシーエス

株式会社 東海ビルメンテナンス 相模原営業所
有限会社 日之出商事

Sagami Building Maintenance Cooperative

さがみビルメンテナンス協同組合

環境活動

本年度で最も注視したことは、『水』でした。

前年度の理事長コメントで、我々の業務の中で最も大きい環境負荷は、《床面洗浄時の回収汚水による水質汚染》であり、現状の処理に加えてまだまだ改善の余地があると、指摘されています。

水質汚染防止には、洗剤の使用を極力抑制することになりますが、以下の報告書をご参照ください。

一方、当組合の環境方針にある《衛生的環境の確保》という面から、昨年猛威をふるったノロウィルス感染症に関して、手順書を作成し対策を実施したのも初めての試みで、今後の感染症対策へのモデルケースが出来たものと考えます。

一年を通じてのコメント

さがみビルメンテナンス協同組合

理事長 鈴木正博

それぞれを省みて、システムがその都度成長している過程が伝わってきます。

ビルメンテナンス業界特有の環境負荷低減は勿論のこと、利用者に対する感染症予防まで視野に入れた取組は見事です。これらのシステム運用が、法令順守を基盤とした環境改善の視点を利用者に向けたところに、意義深いものを感じます。

また、この運用を神奈川県環境農政部開催の『ISO研修会』で、事例発表という形で披露できたことは、内外にこの組織の存在意義を高めたとともに、信用・信頼に繋がったことと確信しています。

一方、内部監査での指摘事項は、いまだうっかりミスや、基本的な記録・点検が空回りし、フォローアップに手間取り、迅速な水平展開が出来ないなどの一面が繰り返されていることは残念です。

執行部の指導強化と熟慮断行がなされ、全組合員が同一歩調で邁進することが肝要と考えます。

『相模原市洗剤対策推進指針』が発効され、一部洗剤等の使用制限が明確になりました。

現在受契している現場での対応は、MSDSを確認したうえで、PRTR法に抵触する化学物質の排除された資材の使用を義務化しているものの、改めて精査したところ当該物質が混入していた事例が見られます。

そこで、各現場については統一した資材に限定し、維持管理を容易に監視できる運用こそが、EMSの本質であると考え、是非とも導入に向けて検討いただきたい。

また、このシステム運用にあたり、さらに内部および外部情報に敏感に耳を傾け、環境改善はもとより品質の向上に反映させることにより、委託先に対する信用と信頼を得て、CS(顧客満足)に寄与するものと考えます。

著しい環境側面と抑制目標および結果達成状況

組合各社が取り上げた環境負荷低減の取組み等をまとめると、以下のようになります。

今年度は、冒頭に記述のとおり『清掃により適した水』の問題と、まだまだ不十分ながら本来の業務の改善に向けての取組が始まりました。

【改善への取組項目】

項目	目的	推進内容	実施部門	平成18年度目標	実績合計		備考	評価
					平成17年	平成18年		
環境改善	洗剤使用量の抑制	可能な範囲で使用の抑制	5社	前年度使用実績以内	167ℓ	156ℓ	使用箇所を選択し限定	◎
		効果的な洗剤の導入	4社	—	574ℓ	453ℓ	前年度は剥離の実施等で多く使用	
		清掃水の検討	3社	定期清掃に適した清掃水の検討	741ℓ	609ℓ	—	
	資源エネルギーの削減	エコ商品の購入拡大	1社			前年比 237%	品目拡大で大幅増加	◎
		消耗品の見直し	1社	前年比 3%減少	5.8%増加		紙の盗難により増加、以外は減少	
		アイドリングストップの実行	1社	燃費確認	—		積載量等の条件が不安定で目に見えた効果なし	
		自動灌水装置の維持管理 排水の回収と再利用	1社	無駄使用の抑制と節水量の把握		節水量 720ℓ /年	水の有効利用量ができた	
品質向上	清掃作業の効率化	作業手順、資機材の見直し 作業教育	4社	清掃作業の充実	2社改善効果あり 2社不十分		作業時間帯・手順の見直し実施	○
		現場品質検査の実施	4社	基準チェックポイントの良好状態 90%以上	良好な状態 平均 80%		1現場のみ実施	
	汚水の排出	法令 pH 値の遵守	10社	pH 濃度 5.8～8.6	全社測定器の準備完了		精度向上のため試験紙から測定器に変更	○

【維持管理を目標とする項目】

著しい環境側面		実施部門	実績合計	備考	評価	
1	ワックスの使用	9社	前年比 1.7%減少	1現場 46ℓ 増加 その他 66ℓ 減少		
2	薬剤の使用	4社	前年比 18.3%増加		お客様の要望で増加	
3	紙の使用	1社	前年比 12.1%減少		メールの活用等	
4	その他ガソリン軽油の使用、節水、節電 廃棄物の排出、フロンガス、汚泥の発生		計測不可 お客様の事情、業務の発生なし		意識をもって取組んでいると推測される	◎

環境監査

◆ 外部審査機関による審査 ◆

外部審査においては、更新審査後の第1回維持審査となりますが、P-D-C-Aをより効果的に展開していくようアドバイスを受けました。

【維持審査結果】

外部審査機関	EQA 国際認証センター	審査期間	平成19年6月29日
審査員	2名	被審査部所	組合事務所および組合員4社
審査結果概要	<p>不適合2件および観察事項4件 不適合として、順守評価および不適合、ならびに、是正処置および予防処置についての指摘を2件受けました。 観察事項については、環境側面、文書管理、コミュニケーション、目的目標および実施計画に関して、再検査するよう指摘がありました。</p>		

◆ 内部環境監査 ◆

内部環境監査の結果、下表のように記録の記載(転記)漏れが30%あり、この作業がなくても不適合にならないよう様式を検討していきます。

【内部監査結果】

監査期間	平成19年2月6日～平成19年5月18日
被監査部所	組合受契現場10現場および組合事務所
内部監査員	10名
審査結果概要	<p>不適合10件および観察事項5件 組合各社・各現場に係る指摘事項： 記録に関するもの5件 文書管理に関するもの2件 教育に関するもの2件 その他4件 組合事務所に係る指摘事項： 教育に関するもの1件 コミュニケーションに関するもの1件</p>

環境教育

◆ 環境フォーラムの開催 ◆

毎年実施している環境フォーラムも、今年で14回目になります。

平成19年2月3日、相模原市民会館において、組合員11社の従事者82名が参加し、次のテーマで実施し、さらに、標語募集も行い、応募総数156件の中から以下の6件を入選としました。

- ① 『相模原市の環境問題』……………相模原市役所環境対策課
- ② 『水道水について』……………三山化学株式会社
- ③ 『トイレの清掃について』……………組合員
- ④ 『前年度組合の取組み実績と今年度の目標』……………組合副理事長

講演の中では、調査結果に基づいて「何処の水が美味しいか」とか、また、「水についての実験」等、楽しい内容でありました。



【入選標語】(順不同・敬称略)

- 『知恵を出し 未来へ残そう きれいな地球』……………秋山俊彦
『環境美化はみんなの願い 自分で始末そのごみを』……………川口笑美子
『どっちな？ ゴミと資源のわかれ道』……………北口秀樹
『明るい未来は健康から 美しい未来は環境から』……………横田将勝
『この川もこの青空も 子供や孫への贈り物』……………大塚肇
『資源は有限工夫は無限 地球にやさしいリサイクル』……………横田亭子

◆ 環境・品質管理委員会の勉強会 ◆

近年、清掃水として各種の水が出回り、冒頭に記載のとおり、当組合として清掃水に関する勉強会を、次の3種類について、それぞれの専門家をお願いして実施しました。

- ① 「軟水」
- ② 「浸透イオン水」
- ③ 「アルカリイオン水」

軟水生成器 ⇒



また、それぞれのサンプルをいただき、実験的に使用し、最終的には別途『EMS運用における洗剤削減のための実証実験・報告書』にあるように、「軟水」を使用することになりました。

コミュニケーション

◆ 外部コミュニケーション ◆

著しい環境側面に対する外部コミュニケーションは発生いたしておりませんが、利害関係者から以下の要望があり、組合員に連絡し対処しました。

項目	内容	対処
洗剤	使用品のリスト要求	提供した
	相模原市の新洗剤対策指針	切り替え 推進中
剥離廃液	中和処理剤研究用にサンプルの要望	提供した 次年度結論
感染症	ノロウィルス流行による感染源阻止(手順書作成)	消毒の実施

利害関係者からの苦情として、日常の業務に関連する以下のような指摘をいただきました。これらは、不適合として再発防止を図っています。

項目	内容	件数
破損、紛失	物品の落下、破損、紛失	3件
作業管理	器具の故障、連絡ミス、作業内容	6件

◆ 内部コミュニケーション ◆

内部コミュニケーションとして、各社の環境・品質管理委員で構成する委員会を10回開催し、環境管理上の各社の推進状況、課題、内部監査結果等、その他諸情報の交換を行いました。

また、この委員会において、専門メーカーや同業者の調査研究内容の勉強会も、併せて行ってきました。一環境教育のページ参照

改善提案

◆ 相模原市の洗剤対策推進指針の実行 ◆

洗剤の使用量の減量化には、軟水を使用し、希釈倍率をたかめること。PRTR法の特定化学物質とされる成分を含まない洗剤に切り替えること。

◆ 法令およびその他の要求事項の順守、追及 ◆

環境関連法規以外にも、企業として適用される法規ならびに良好な品質状態維持を、このシステムに組み入れて運用すること。

◆ 情報の活用 ◆

過去の成功・失敗事例をまとめ、教育資料として繰り返し活用すること。

環境社会活動

◆ 不法投棄防止キャンペーン ◆

実施日時：平成 18 年 11 月 25 日（土曜日）9 時 00 分～10 時 30 分

相模原市美化運動の一環として、新宿小学校周辺区域の不法投棄物撤去及び道路清掃に、他の 14 団体と共に、当組合として 15 名が参加し、全体で以下の回収量となりました。

粗大ごみ	4,580 kg	
可燃ごみ	710 kg	
処理困難物	1,000 kg	
資源等	710 kg	(合計 6,490 kg)



◆ 空き缶回収キャンペーン ◆

実施日時：平成 19 年 5 月 12 日（土曜日）13 時 00 分～17 時 30 分
平成 19 年 5 月 13 日（日曜日）10 時 30 分～17 時 30 分

第 34 回相模原市民若葉まつりにおいて、清潔な環境づくりと資源のリサイクルをめざして、恒例となりました『空き缶回収キャンペーン』を、組合員延べ 33 名が参加実施しました。

空き缶回収(持参)者には、組合員および賛助会員から寄贈の景品を進呈し、回収した空缶は、要望されていた「NPO 法人精神障害者自立支援センター」へ回送し、活用いただきました。

2 日間の空き缶回収量は、9,000 個でした。市民のみなさん有難うございました。



月刊ビルメンテナンス 8 月号掲載記事より……

今回で 16 回目となる恒例の『空カン回収キャンペーン』を実施した。これは、空カン 5 個集めて持参するとクジ引きに挑戦でき、景品がもらえるという企画。

景品にはお掃除グッズや、子供向けのおもちゃ等が用意された。

この企画は、子供に大人気で、協同組合のテントの前には、空カンを抱えた子供が多数集まった。

集められた空カンは、組合員が分別し、空カンつぶし回収機などでつぶされた後、障害者の自立を支援する NPO 法人に寄付されており、社会福祉に役立てられている。

参加者は、祭りを楽しみながら会場美化、資源リサイクル、障害者支援が行える有意義なキャンペーンであった。

地域貢献活動 - i

◆ 中学生職場体験受入 ◆

実施日時：平成 18 年 11 月 27 日(月曜日)～12 月 1 日(金曜日)・9 時～15 時

学校名および受入人数：相模原市立弥栄中学校第 2 学年生徒・7 名

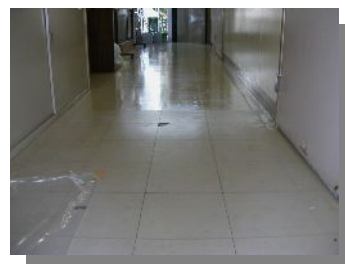
体験場所：相模原市役所および相模原市立産業会館

相模原市教育委員会の依頼を受けて、中学 2 年生徒の職場体験受入実施をしました。清掃ならびに設備管理業務を、組合従事者の指導のもとに、実務および座学をとおして社会体験習得の場を提供しました。

中学生諸君には、厳しい一面もあったようですが、体験を終えての感想文をいくつか紹介いたします。

『今回の体験で一番印象に残っていることは、落ち葉の清掃をされていて、通りがかりの人から「ありがとう、お疲れさま」と言われたことです。この言葉は、今でも心に残っています。』

『おかげさまで、ポンプの分解など中学校ではできない体験ができました。特に心に残っていることは、みんなで落ち葉清掃後の道路を振り返ったとき、廊下の床や議場をみんなで協力して綺麗にしたときなど、終わって見たら気持ちが良いことばかりでした。』



地域貢献活動 - ii

◆ 障害者職業指導の講師派遣 ◆

実施日時：平成 18 年 6 月 22 日～平成 19 年 3 月 6 日・28 日(196.5 時間)

学校名および受講者数：国立県営神奈川障害者職業能力開発校・28 名

講座名：環境サービスコース

知的障害者に対する清掃技能習得のための指導講師を 3 名派遣しました。

この課程修了者の 1 人は、神奈川県第 4 回アビリンピック(技能オリンピック)に参加し、見事第 4 位に入賞され、大変喜ばしい成績をあげました。



神奈川県



第 4 回 アビリンピック



◆ 第 1 回神奈川県 ISO14001 研修会における事例発表 ◆

実施日時：平成 18 年 10 月 25 日

場所：神奈川県青少年センター

事例発表：ワックスの選定に関するコンペティション

内容は、ワックスメーカー 4 社による、同一建物内での通常の床面洗浄およびワックス塗布を行い、廃液処理、保守の難易性、劣化状況の観察等を実施し、より環境に適したワックスを選択するに至る経過を発表し、好評を得ました。



では、また 2008 版で
お目にかかりましょう

参考資料

◆ 洗浄水の実験結果 ◆

平成 18 年 11 月 21 日

被 験 物 等	浸透イオン水生成装置(軟水)		アルカリイオン清掃水生成装置	
	添 加 物	状 況・効 果	添 加 物	状 況・効 果
市役所ロビー 石材床 (日常作業)	ソーダ灰 10g 軟水 300cc	①床に散布しパットで擦ると黒ずんでいた床が元の石材の色になった ②自動洗浄機(ブラシ)で洗浄したが効果なし(床に接する面積の差) ③ポリッシャーを使用すると①と同様効果あり	ソーダ灰 10g アルカリイオン水 300cc	軟水と同じ 添加物なしでは効果が小さい
カーペットしみ	—	—	なし	スプレー容器に入れ、汚したすぐ後ではなくても、シミ(水性)に噴霧し、雑巾で拭き取ると、跡形なく取れた
喫煙室壁面 たばこのヤニ	ソーダ灰 100g メタ珪酸ナトリウム 125g トリポリリン酸ナトリウム 20g リポラン(界面活性剤) 2g 軟水 500cc	④スプレー容器に入れ壁に吹き付けると簡単にヤニが取れた(難点:漆喰壁では拡散する) ⑤ソーダ灰だけでも相当の効果があつた(難点:のどに刺激がある)	ソーダ灰 10g アルカリイオン水 300cc	効果抜群でヤニが流れ落ちるように取れた
機の拭き掃除	なし	効果なし	なし	スプレー容器に入れ、机に噴霧して雑巾がけすると通常の雑巾がけより手垢等取れやすい
手洗い水石鹸	希釈の水として使用	泡立ちがよく、希釈倍率 3 倍から 5 倍に変更した	—	—
床洗浄 (定期作業)	⑥15ℓの希釈水に洗剤(ビルコクリーナ F)を 180cc 投入 ⑦15ℓの希釈水に洗剤(ビルコクリーナ F)を 150cc 投入	⑥⑦とも同じ洗浄効果が得られた(2 割削減可能)	軟水同様の洗剤で 80 倍希釈 (pH13.5)	剥離に近い効果がある 洗浄ムラが発生した
装置の特徴	樹脂の性能低下時に電源を入れ自動再生 通常は電源は要らない 持ち運びに便利 毎分 6ℓの生成		毎月メンテナンス必要 使用時電源必要(定位設置) 酸性水の排出 毎分 1.5ℓ生成	
価 格	約 100 万円		約 100 万円	

※ 薬品は、三山化学株式会社より提供いただいた
 ※ アルカリイオン水は、軟水+珪酸カリウムで作成できる